

<集計結果>

○回答事業者総数:92事業者(記名回答83社 無記名回答9社)
○回答事業者業内訳:荷主 28(記名24社 無記名4社) 海貨 62(記名58社 無記名4社) 通関業 1 不明 1

質問1. 有料時間外ゲートオープンを利用しますか。

○回答事業者数:83事業者(記名回答のみ)

<回答内容>※回答件数はのべ数であるため、回答事業者数とは一致しない場合があります。

・有料時間外ゲートオープンを利用する	45件	(荷主 11 海貨 33 通関 1)
・有料時間外ゲートオープンを利用しない	38件	(荷主 13 海貨 25)

質問2. (1)どのような状況であれば、有料時間外ゲートオープンの利用料を支払った上でトラック運送事業者に対してターミナルからのコンテナ時間外(16:30-20:00)搬出を依頼されますか。

○回答事業者数:50事業者(記名回答47社 無記名回答3社)

<回答内容>※回答件数はのべ数であるため、回答事業者数とは一致しない場合があります。

・通関に係る事情(許可が16:30以降など、臨時開庁の場合)	21件	(荷主 5 海貨 15 通関 1)
・荷主からの要請(納期厳守、急ぎの場合など)	19件	(荷主 3 海貨 16)
・輸出締切貨物の搬入	5件	(海貨 5)
・輸入フリータイム貨物の搬出	7件	(海貨 7)
・空コンテナの返却	6件	(海貨 6)
・配達準備の積み置き	4件	(海貨 4)
・輸入締切貨物の搬入	2件	(荷主 1 海貨 1)
・深夜入港の本船のコンテナ搬出時	1件	(荷主 1)
・作業日の急な変更時	1件	(海貨 1)
・翌朝一番に搬入するコンテナがある場合	1件	(海貨 1)
・短時間に相当数のバン詰め作業が集中した際の空コンテナのピック	1件	(海貨 1)
・ドレーの並び遅延時	1件	(海貨 1)
・繁忙期	1件	(海貨 1)

質問2. (2)有料時間外ゲートオープンの利用料をどの程度までご負担いただけますか。(20ft・40ft共通/1本)

○回答事業者数:48事業者(記名回答39社 無記名回答9社)

<回答内容>※回答件数はのべ数であるため、回答事業者数とは一致しない場合があります。

・1,000円	16件	(荷主 4 海貨 11 通関 1)
・2,000円	13件	(荷主 2 海貨 11)
・無料	7件	(荷主 4 海貨 3)
・荷主による	4件	(海貨 4)
・3,000円	3件	(海貨 3)
・荷主負担で上限1,000円程度	1件	(海貨 1)
・10,000円	1件	(海貨 1)
・その時の状況により異なる	1件	(海貨 1)
・まだ検討段階にない	1件	(海貨 1)
・回答できない	1件	(海貨 1)

質問3. 現状においても20時頃まで作業が終わらないターミナルがあります。今回の有料時間外ゲートオープンでは、そのようなターミナルがモデル事業への参加を表明し、国から補助金が支給され、利用者から料金を徴収することになっています。こうした現状について、どのようにお考えですか。

○回答事業者数:63事業者(記名回答54社 無記名回答9社)

<回答内容>※回答件数はのべ数であるため、回答事業者数とは一致しない場合があります。

・有料化に反対。	23件	(荷主 9 海貨 13 不明 1)
・ターミナルによる現状の混雑や渋滞の改善等が先決。	21件	(荷主 8 海貨 11 通関 1 不明 1)
・補助金支給に反対。	9件	(荷主 2 海貨 6 不明 1)
・本モデル事業に賛成。	7件	(荷主 1 海貨 6)
・国際競争力の観点から24時間ゲートオープンは不可欠。	1件	(荷主 1)
・本モデル事業のエンドユーザーである荷主への浸透が重要。	1件	(海貨 1)
・ターミナルの現状が公表されないままの有料化は不公平。	1件	(海貨 1)
・トラック運送事業者や倉庫会社が救済されるべき。	1件	(海貨 1)
・利用する機会が乏しい。	1件	(海貨 1)
・本モデル事業を契機にすべてが有料化されることを危惧。	1件	(荷主 1)
・荷主がコストを負担する確約と方法があれば利用。	1件	(海貨 1)
・国からの補助金を増やして20時まで無料化、それ以降は有料。	1件	(荷主 1)
・補助金や利用料の最終的な行き先に疑問。	1件	(荷主 1)
・時間内の搬出入と時間外料金の支払いをトラック運送事業者に求める。	1件	(海貨 1)
・有料化し、行政主導の下で規制撤廃や24時間オープンを進める。	1件	(海貨 1)
・有料化に際してルールを策定。	1件	(海貨 1)

質問4. その他、有料時間外ゲートオープンモデル事業全般に対するご意見をお寄せ願います。

○回答事業者数:76事業者(記名回答69社 無記名回答7社)

<回答内容>※回答件数はのべ数であるため、回答事業者数とは一致しない場合があります。

・ターミナルによる現状の混雑や渋滞の改善等が先決。	15件	(荷主 2 海貨 11 通関 1 不明 1)
・無料化すべき。	13件	(荷主 6 海貨 6 不明 1)
・荷主の理解を得るのは困難。	10件	(荷主 2 海貨 8)
・24時間オープンを実施すべき。	8件	(荷主 3 海貨 5)
・本モデル事業に賛成。	6件	(荷主 2 海貨 4)
・早朝ゲートオープンが効果的。	5件	(海貨 5)
・荷主やトラック運送事業者等関係者への十分な説明がない。	2件	(荷主 1 海貨 1)
・内容が公表されていないのでわからない。	1件	(海貨 1)
・時間内(無料)と時間外(有料)の区別を明確化して欲しい。	1件	(海貨 1)
・祝日も実施して欲しい。	1件	(海貨 1)
・本モデル事業を契機にすべてが有料化されないようにして欲しい。	1件	(荷主 1)
・トラック運送事業者、通関業者、倉庫業者等に対して補助がないのは不合理。	1件	(海貨 1)
・労働時間の増加やコスト負担の増加につながる。	1件	(海貨 1)
・コンテナ搬出入作業の深夜化が進むだけで有効な改善策とは言えない。	1件	(海貨 1)
・特別な場合以外は利用しないので、日中にコンテナ搬出入が集中する。	1件	(海貨 1)
・本モデル事業は荷主に浸透していない。ほとんどの荷主は知らない。	1件	(海貨 1)
・通常のゲートオープンを17:00までにして欲しい。	1件	(海貨 1)
・関係者間の協力が不可欠。	1件	(荷主 1)
・本モデル事業の利用は混雑解消が前提。	1件	(海貨 1)
・他港が実施しているのに東京港が実施しないことに疑問。	1件	(荷主 1)
・東京港と地方港は抱える問題が異なり、同様に考えることは危険。	1件	(海貨 1)
・本モデル事業に興味がある。顧客からの要望があれば利用を考えたい。	1件	(海貨 1)
・混雑緩和対策としてヤード間の連携を密にし、これを有料のサービスとして提供する。	1件	(荷主 1)
・時間外だけでなく、すべてのコンテナに課金すれば不公平間はない。	1件	(海貨 1)
・働かされる側に立った支援や補助が必要。	1件	(海貨 1)

<集計結果>

質問5. 東京港における混雑問題及びその解決策についてご意見をお寄せ願います。

○回答事業者数:56事業者(記名回答49社 無記名回答7社)

<回答内容>※回答件数はのべ数であるため、回答事業者数とは一致しない場合があります。

・ターミナルの荷役機器や作業員の増強等、ターミナルの拡充。	24件	(荷主 7 海貨 16 通関 1)
・周辺道路や後背地等の整備。	10件	(荷主 3 海貨 7)
・ゲートオープン時間の延長。	7件	(荷主 2 海貨 5)
・他の港やターミナルの活用。	6件	(荷主 3 海貨 3)
・国や都など行政の主導による改善。	6件	(荷主 1 海貨 5)
・24時間ゲートオープンの実施。	3件	(荷主 1 海貨 1 通関 1)
・早朝ゲートオープンの実施。	3件	(荷主 1 海貨 2)
・複合的な問題を関係者間で連携して解決すべき。	2件	(海貨 2)
・共同バースの設置。	1件	(海貨 1)
・東京港全体を同一のコンピュータシステム、同一の搬出入方法にすべき。	1件	(海貨 1)
・メガターミナルの建造。	1件	(海貨 1)
・入港船舶数の制限。	1件	(荷主 1)
・違法駐車を取り締まり強化。	1件	(海貨 1)
・本船荷役とコンテナ搬出入業務の優先度の調整。	1件	(海貨 1)
・船社毎のターミナル利用につき、セクショナリズムをなくす。	1件	(海貨 1)
・混雑する日中に料金を徴収、すいている早朝・深夜の料金を割り引く。	1件	(海貨 1)
・世界の革新的な港湾と同様のインフラ形態の採用。	1件	(海貨 1)
・この先100年使えるモデル港湾システムの策定。	1件	(海貨 1)
・ハブ港を造り、東京、横浜、川崎、千葉の各港はサポート港とする。	1件	(海貨 1)
・過剰なコスト削減によりターミナルの処理能力が低下している。	1件	(荷主 1)
・電車の時差通勤にならった「時差納入」の奨励。	1件	(海貨 1)
・品物のカテゴリー、地域、車番等による配送日の制約。	1件	(海貨 1)

質問6. トラック協会やトラック運送事業者に対するご意見をお寄せ願います。

○回答事業者数:38事業者(記名回答34社 無記名回答4社)

<回答内容>※回答件数はのべ数であるため、回答事業者数とは一致しない場合があります。

・トラック運送事業者が置かれている厳しい現状を危惧。	7件	(荷主 1 海貨 6)
・行政やターミナルに対して現状の改善を強く求めるべき。	5件	(海貨 3 通関 1 不明 1)
・トラック運送事業者に感謝。	3件	(荷主 2 海貨 1)
・強固な組織力や発言力を持つことが必要。	2件	(海貨 2)
・円滑な物流形態構築のために頑張ってもらいたい。	1件	(海貨 1)
・現場の状況や輸送に関する情報を早めに教えて欲しい。	1件	(海貨 1)
・トラックの待機場所を設置し、道路渋滞を減少させて欲しい。	1件	(海貨 1)
・大井地区や青海地区の待機レーン増設や道路整備(車線変更)の検討。	1件	(海貨 1)
・タクシーのように社会全体で料金が固定化することが望ましい。	1件	(荷主 1)
・輸送距離のみで運賃を決めるのは不合理。待機時間の長短も運賃に反映させるべき。	1件	(海貨 1)
・安全で確実な運送による時間通りの納入を望む。	1件	(荷主 1)
・他の物流業と連携して情報交換や調査を行うべき。	1件	(荷主 1)
・トラック運送事業者の苦労は分かるが、荷主側の価格競争が厳しいことも理解願いたい。	1件	(荷主 1)
・海上コンテナ専門部会の意見表明に賛同する。	1件	(海貨 1)
・現状を社会に認めてもらう努力が必要。	1件	(海貨 1)
・際立ってオペレーションが遅いターミナルを改善して欲しい。	1件	(海貨 1)
・中小零細企業が多すぎるのが難点。M&Aを進めて企業規模の拡大をはかるべき。	1件	(海貨 1)
・荷主側の要求(コンプライアンス・ISO等)に応えられるよう業界のレベルアップに取り組むべき。	1件	(海貨 1)
・ドライバーが国との意見交換の場に参加できるようにして欲しい。	1件	(海貨 1)
・トラック協会として政治的な面で積極的に意見を出すべき。	1件	(海貨 1)
・埠頭内の違法駐車を減らすべき。自分達で走りづらくしているのではないかな。	1件	(海貨 1)
・CO2排出量削減に繋がる積載量の増加に努めて欲しい。	1件	(海貨 1)
・本モデル事業を通じて便乗値上げにならないようにして欲しい。	1件	(海貨 1)
・ITの活用により、ターミナルの混雑状況が把握できるようにして欲しい。	1件	(海貨 1)
・リーファーコンテナを夕方にピックアップした際のコンセント場所が少なく、利用料が高い。	1件	(海貨 1)